

中央広域環境センターごみピット清掃等業務

仕様書

令和 7 年 8 月

中央広域環境施設組合

目 次

第 1 章 総則	1
1. 業務概要	1
2. 業務名	1
3. 業務期間	1
4. 業務箇所	1
5. 本施設の概要	2
6. 疑義	7
7. 秘密の保持	7
8. 関係法令等の遵守.....	7
第 2 章 一般事項	8
1. 適用範囲	8
2. 業務用の電力、水、圧縮空気及び資機材置場等.....	8
3. 受注者用仮設事務所等.....	8
4. 配置技術者	8
5. 許認可取得	8
6. 議会・住民等対応への協力.....	8
7. 資料の貸与	10
8. 提出書類	10
9. 作業日及び作業時間.....	10
10. 検査	11
11. 安全管理	11
第 3 章 業務内容	12
1. 共通事項	12
2. ほこりの除去	17
3. 高圧洗浄	17
4. ごみ投入扉の隙間の閉塞.....	19
5. 廃棄物及び汚水の運搬費及び処分費の実費精算について.....	19

添付資料 1 中央広域環境施設組合新ごみ処理施設建設工事 図面

添付資料 2 過去のごみピット汚水の分析結果（参考）

第1章 総則

本仕様書は、中央広域環境施設組合（以下「本組合」という。）が計画している中央広域環境センターごみピット清掃等業務（以下「本業務」という。）に適用する。

1. 業務概要

本業務は、令和7年7月末に稼働停止し、同年8月から当面の間ごみの積替保管施設として使用する中央広域環境センター（以下「本施設」という。）について、施設の適正管理及び周辺環境の保全のため、ごみピット及びごみピット汚水槽等（以下「ごみピット等」という。）の清掃並びにごみ投入扉の隙間の閉塞を行うことを目的とする。

本業務の実施に当たっては、現行法令の規定を遵守し、公害防止に留意することはもとより、労働安全衛生法に基づく各規則を遵守し、労働者の安全を確保するとともに、周辺地域に対する安全にも配慮して行うものとする。

なお、本業務において発生した廃棄物及び汚水は、分析した上で本業務に伴い発生した特別管理産業廃棄物又は産業廃棄物として適切に処分するものとする。

2. 業務名

中央広域環境センターごみピット清掃等業務

3. 業務期間

契約締結の翌日から令和8年1月30日まで

ただし、現場における作業期限は特別な事情がない限り、令和7年12月26日まで

4. 業務箇所

徳島県阿波市吉野町西条字藤原70番地1

中央広域環境センター

5. 本施設の概要

本施設の概要は、次のとおりである。

- ・ 竣工 平成 17 年 7 月
- ・ 建築面積 5,850.74m²
- ・ 延床面積 13,426.47m²
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- ・ 処理能力 120t/24h (60t/24h×2 炉)
- ・ 処理方式 サーモセレクト式 (ガス化改質方式)
- ・ 本業務の対象範囲の概要 (概略は図 1、詳細は図 2～図 5 及び添付資料 1 参照)

ごみ投入扉	ごみ収集車用	3 門
	ダンピングボックス用	1 門
ごみピット		1 基
ごみクレーン		2 基
ごみピット汚水槽		1 槽

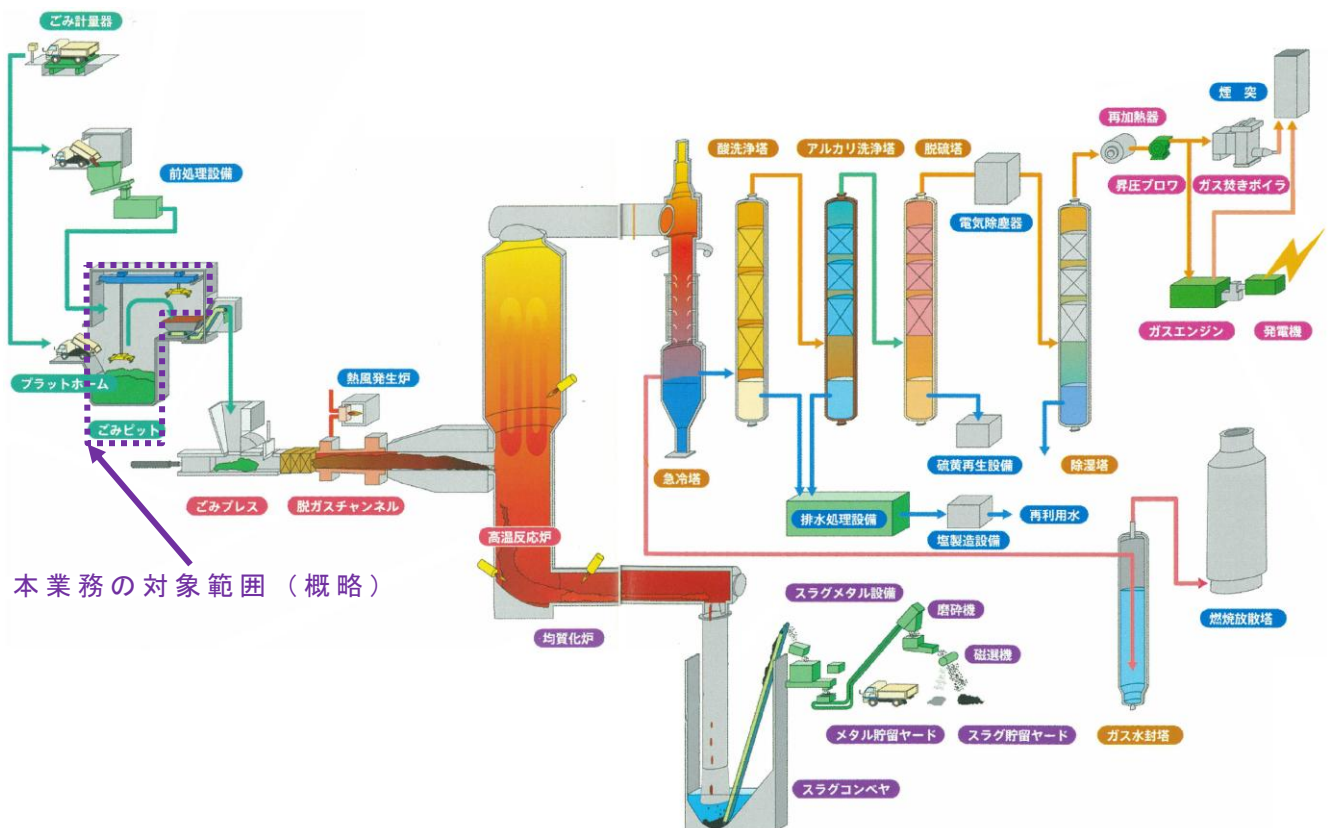


図 1 本業務の対象範囲 (概略)

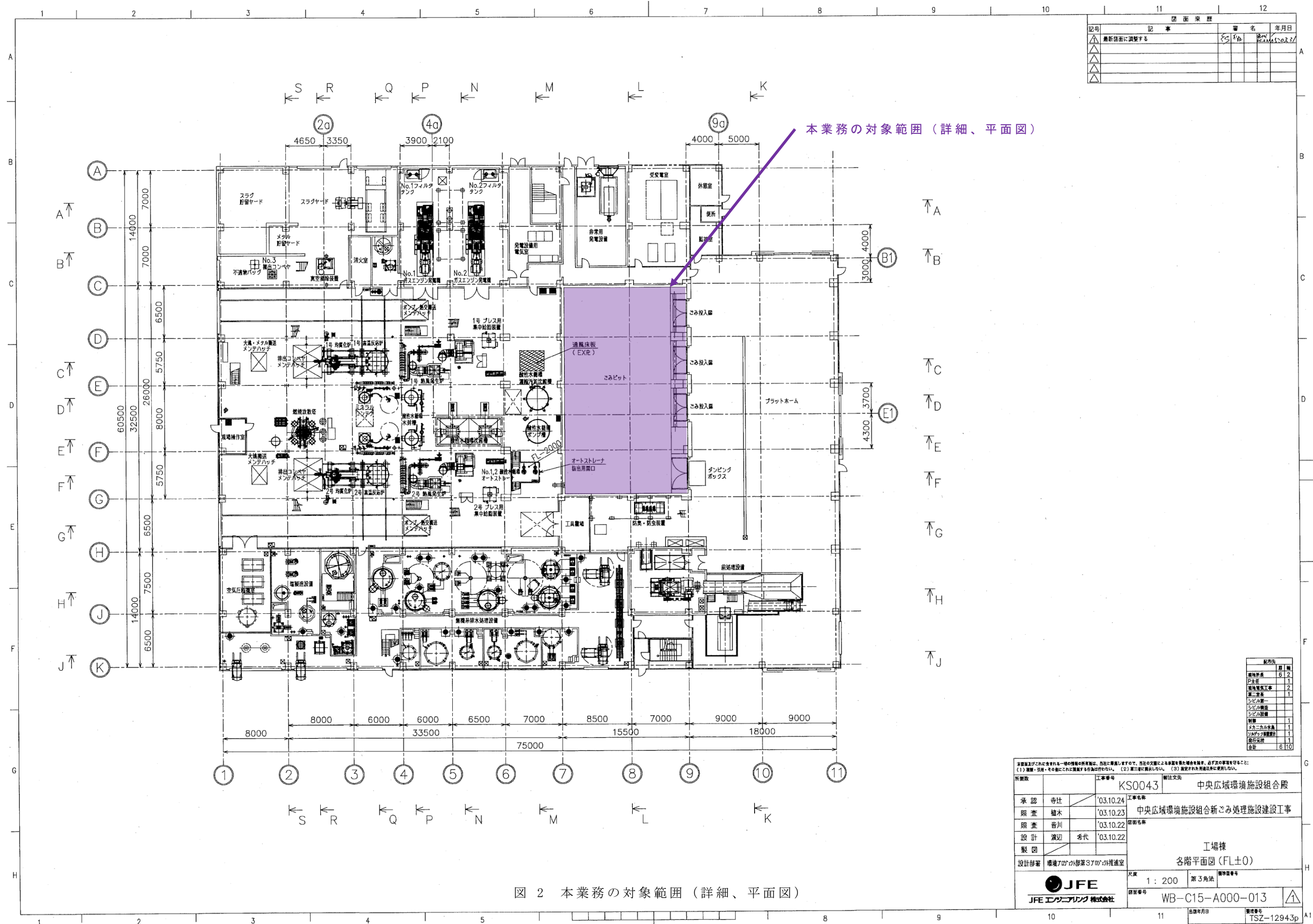
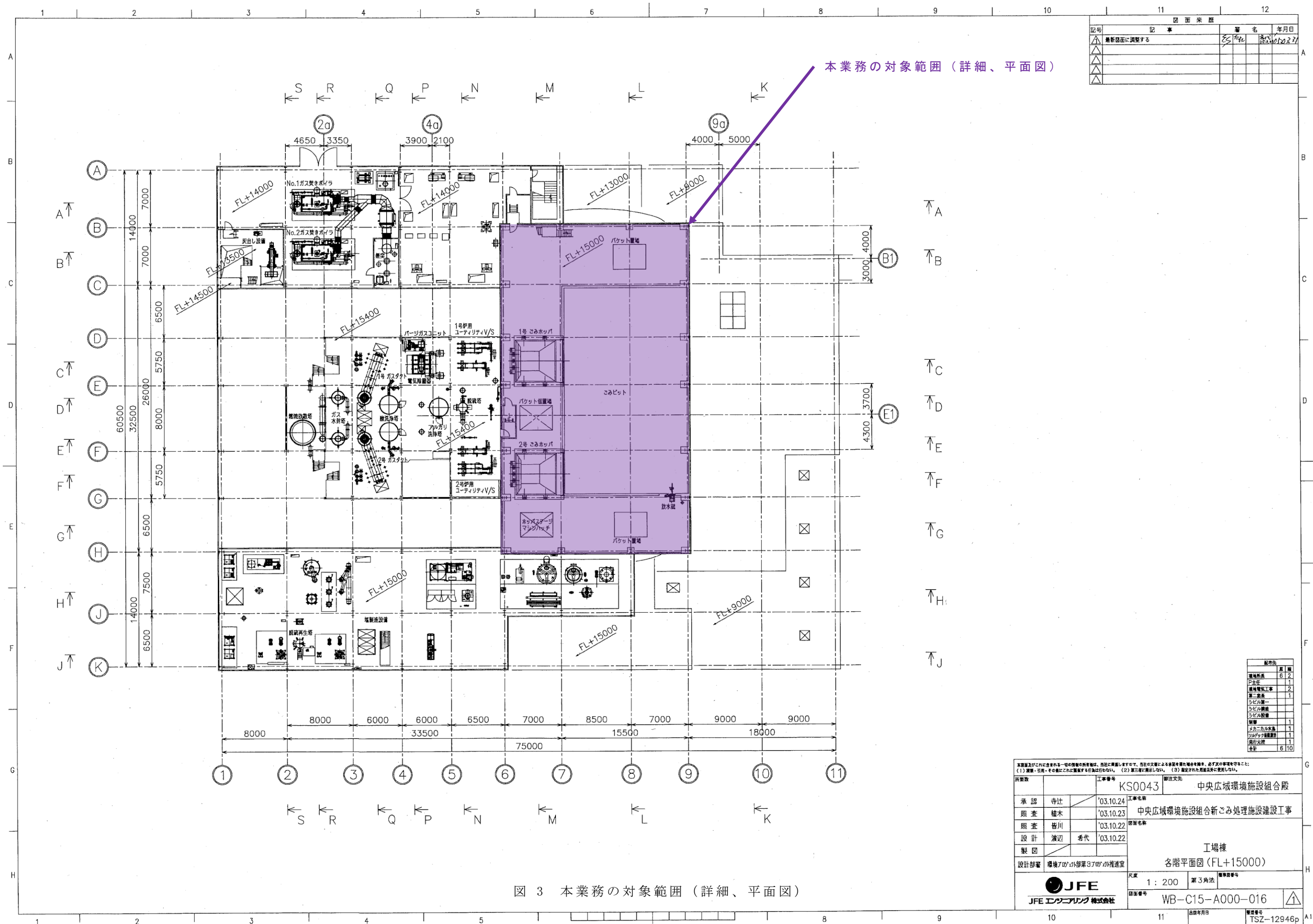
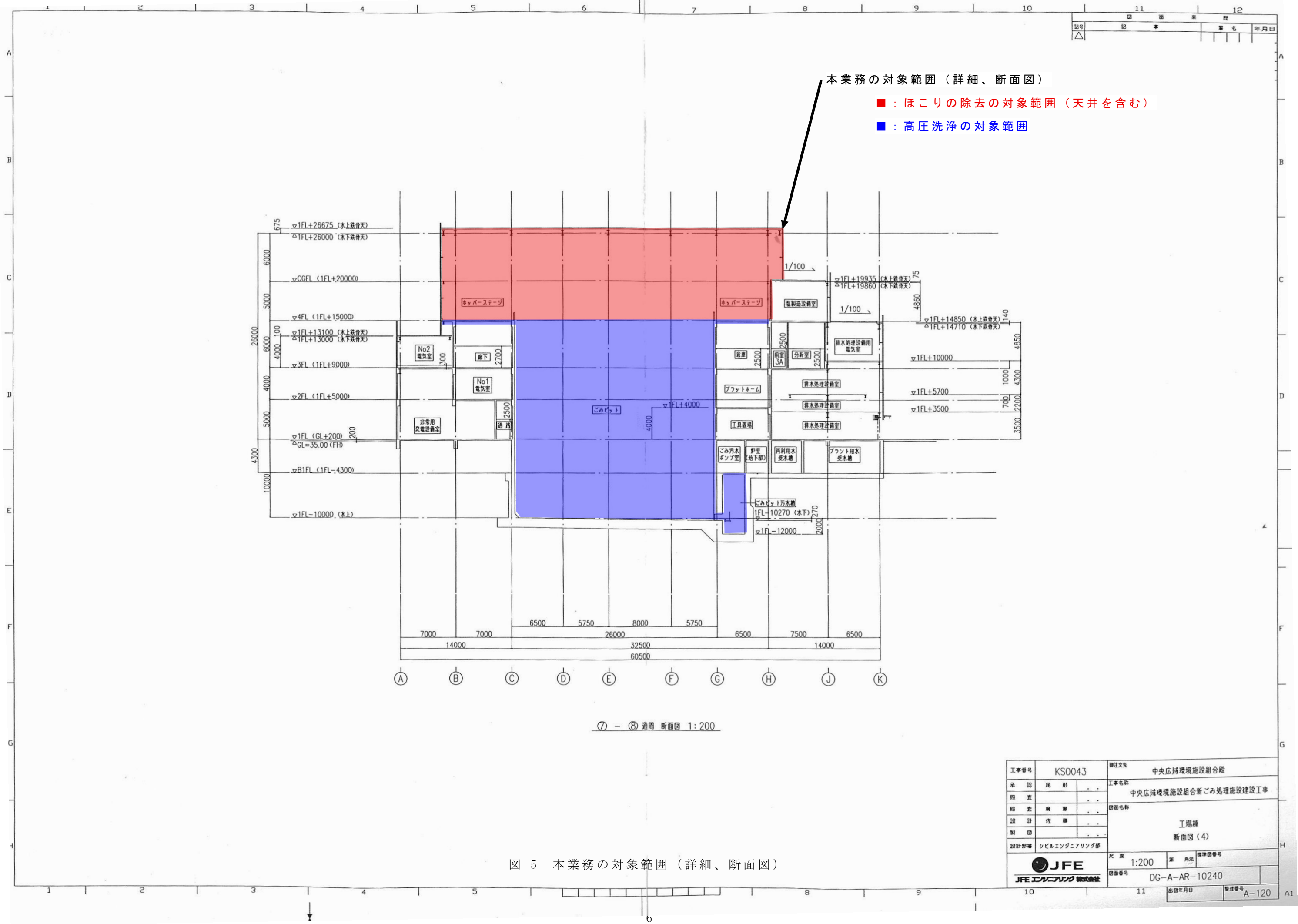


図 2 本業務の対象範囲（詳細、平面図）





本業務の対象範囲（詳細、断面図）

■：ほこりの除去の対象範囲（天井を含む）

■：高圧洗浄の対象範囲

⑦ - ⑧ 通断 断面図 1:200

図 5 本業務の対象範囲（詳細、断面図）

工事番号	KS0043	御注文先	中央広域環境施設組合殿
承認	尾 形	工事名称	中央広域環境施設組合新ごみ処理施設建設工事
照査		図面名称	工場棟 断面図（4）
照査	廣 瀬		
設計	佐 藤		
製 図			
設計部署	シビルエンジニアリング部		
JFE JFE エン지니어リング 株式会社		尺 寸	1:200
		縮 小 法	標準縮小法
		図面番号	DG-A-AR-10240
		出図年月日	
		整理番号	A-120

6. 疑義

本仕様書の記載事項及び業務実施上の疑義が生じた場合は、本組合と協議し、これを定めるものとする。

7. 秘密の保持

受注者は、この契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

8. 関係法令等の遵守

本業務の実施に当たっては、次の関係法令等を遵守すること。

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ 労働基準法
- ・ 労働安全衛生法
- ・ 計量法
- ・ 日本産業規格
- ・ 徳島県及び阿波市の関係条例
- ・ その他関係法令、規則、規格、基準等

第2章 一般事項

1. 適用範囲

本仕様書は、本業務の基本的事項を定めるものであり、本仕様書に記載されていない事項であっても、本業務の目的達成のために必要な業務及び業務の性質上当然必要と思われる業務については、受注者の経費負担と責任において行うこと。

なお、本業務において発生した廃棄物及び汚水の運搬及び処分は、本業務に含むものとする。

2. 業務用の電力、水、圧縮空気及び資機材置場等

本業務の実施に必要な電力、水及び圧縮空気は本組合が支給するが、必要最小限の使用量とすること。

また、本業務の実施に必要な資機材置場及び駐車場は、本組合が無償貸与するが、事前に本組合と協議を行った上で使用すること。

3. 受注者用仮設事務所等

受注者用仮設事務所及び仮設トイレは、受注者の経費負担により設置すること。なお、設置場所は図 6 の位置を想定しているが、事前に本組合と協議を行った上で設置すること。

4. 配置技術者

受注者は、本業務の実施に当たっては、次の資格を有する技術者を配置すること。

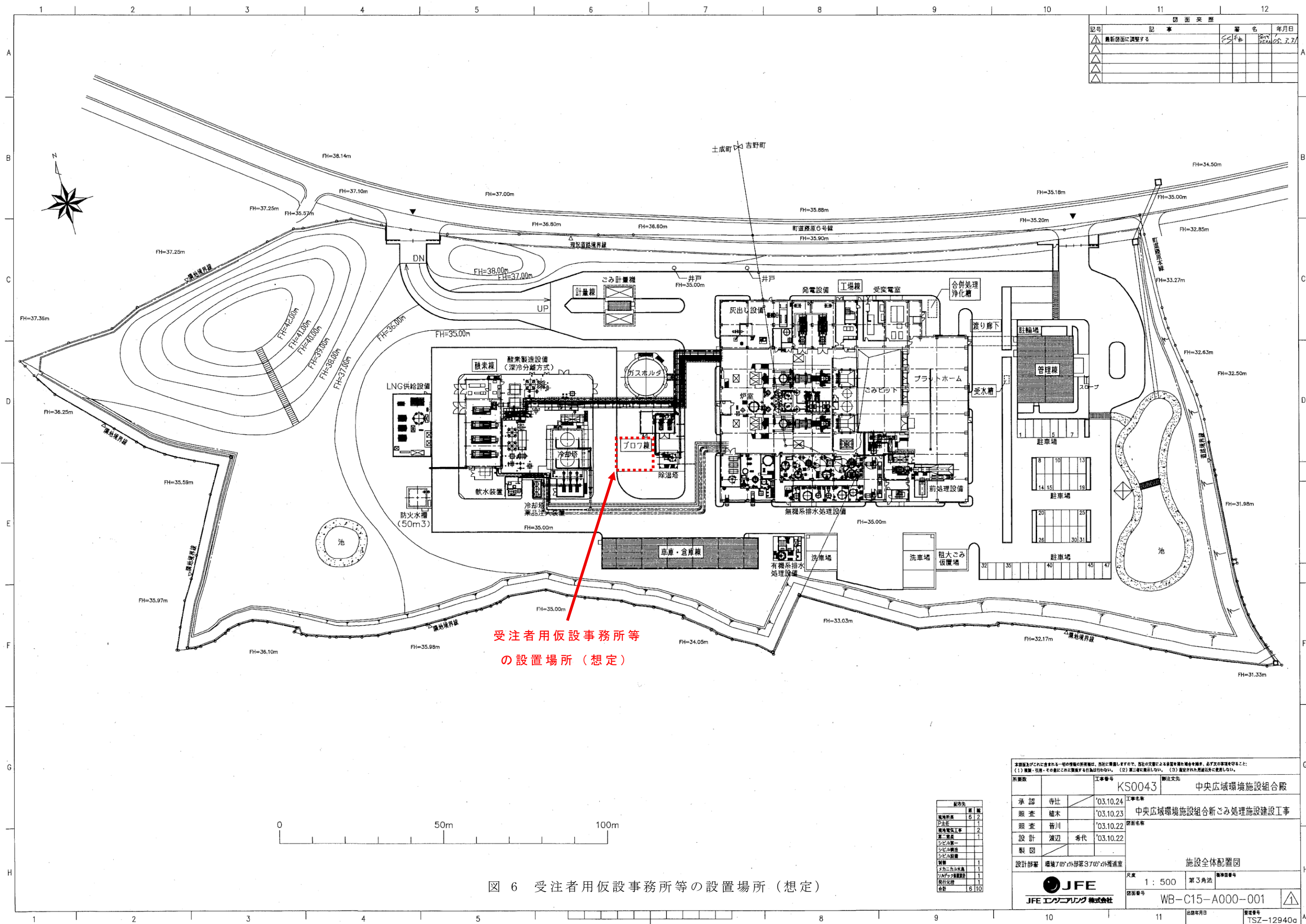
- (1) 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者
- (2) その他必要な資格

5. 許認可取得

業務内容により関係官庁の許認可が必要な場合には、受注者の経費負担により速やかに取得し、本組合に報告すること。

6. 議会・住民等対応への協力

本組合の要請により議会・住民等への対応が必要な場合は、資料作成や説明等の協力を行うこと。



受注者用仮設事務所等
の設置場所（想定）

記号	記 事	署名	年月日
△	最新図面に調整する	松本	2015.12.27
△			
△			
△			

本図面及びこれに含まれる一切の情報の所有権は、当社に帰属します。また、本図面による複製を禁じます。また、本図面を第三者に譲渡することを禁じます。	
(1) 複製・引用・その他の目的にこれを利用する行為は行わない。(2) 第三者に譲渡しない。(3) 複製された図面以外に使用しない。	
所属	KS0043 中央広域環境施設組合
承認	寺辻 03.10.24 工事番号
照査	植木 03.10.23 工事名称
照査	岩川 03.10.22 図面名称
設計	渡辺 希代 03.10.22
製図	
設計部署	環境工場の部第3工場の推進室
施設全体配置図	
図面番号 WB-C15-A000-001	
図面番号 TSZ-12940a	

図 6 受注者用仮設事務所等の設置場所（想定）

7. 資料の貸与

本業務を実施するに当たり、必要な資料の収集は、原則として受注者が行うこととするが、現在、本組合が所有し、業務に利用できる資料はそれを貸与する。受注者は、貸与の日から7日以内に、本組合に借用書を提出し、注意をもって管理するとともに、業務の完了までに返還しなければならない。

8. 提出書類

受注者は、本業務の実施に当たり、次の書類を提出しなければならない。

なお、提出後に変更が生じた場合は、速やかに変更を加えた書類を提出すること。

8.1 契約締結時 各 1 部

- (1) 工程表
- (2) 主任技術者届
- (3) 配置技術者届（資格証の写しを含む）
- (4) 業務計画書
- (5) 業務費内訳書
- (6) その他本組合が指示するもの

8.2 業務完了時

- (1) 成果品納品書 1 部
- (2) 成果品（業務報告書） 1 部（電子データを含む）
 - ・ 業務日誌
 - ・ 写真帳
 - ・ 分析結果報告書
 - ・ マニフェスト
 - ・ 打合せ議事録
 - ・ その他本組合が指示するもの

9. 作業日及び作業時間

- (1) 作業日は、原則として年末・年始を除いた日とする。
- (2) 作業時間について、屋外作業は原則として8:00～17:00とする。
- (3) 上記以外に作業を行う場合は、事前に理由を付した文書を本組合に提出すること。

10. 検査

- (1) 受注者は、業務を完了したときは、本組合の検査を受けなければならない。検査に合格しないときは、直ちに修補して本組合の検査を受けなければならない。
- (2) 業務完了後に、明らかに受注者の責に伴う業務の不適合が発見された場合、受注者は修補等による履行の追完をしなければならない。

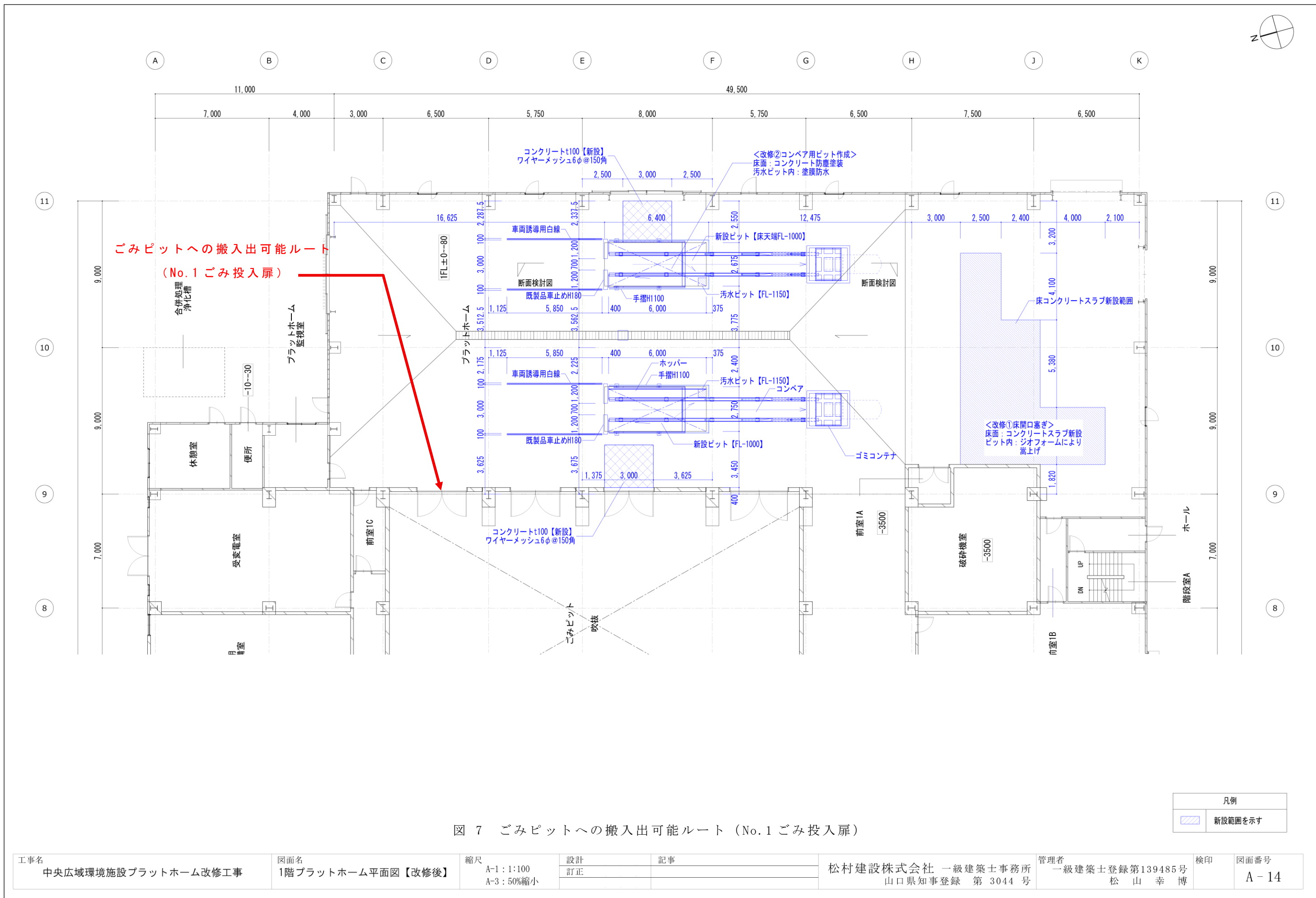
11. 安全管理

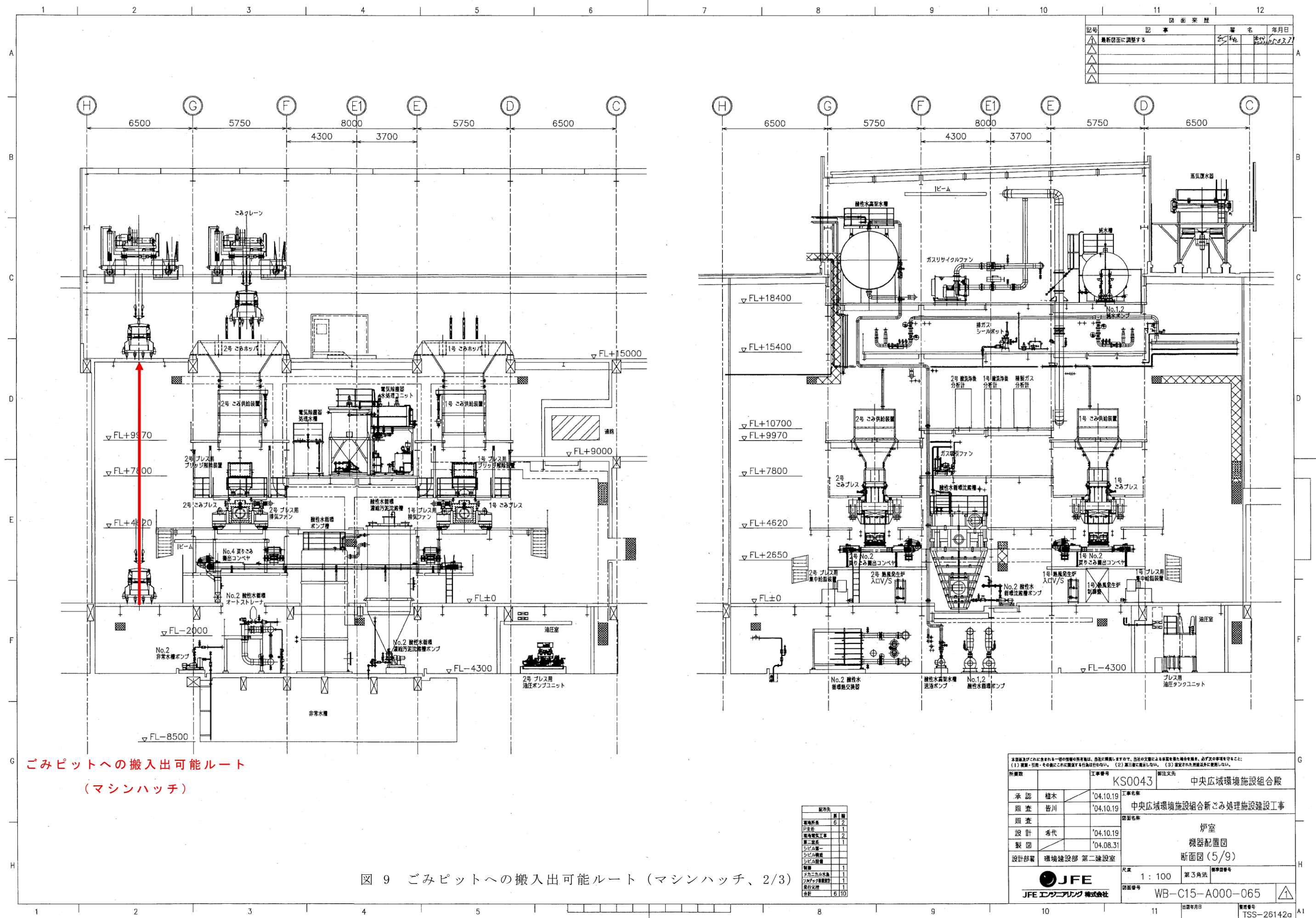
- (1) 受注者は、本業務の実施に当たり、安全に特に留意するものとし、万が一、事故が発生した場合には、適切に措置を講ずるとともに、その原因、処理経過等を速やかに本組合に報告しなければならない。
- (2) 周辺地域の安全確保、ごみの積替保管施設の運営及び他の清掃作業等に支障をきたさないよう、関係者と十分に調整を図り、必要な措置を講じること。

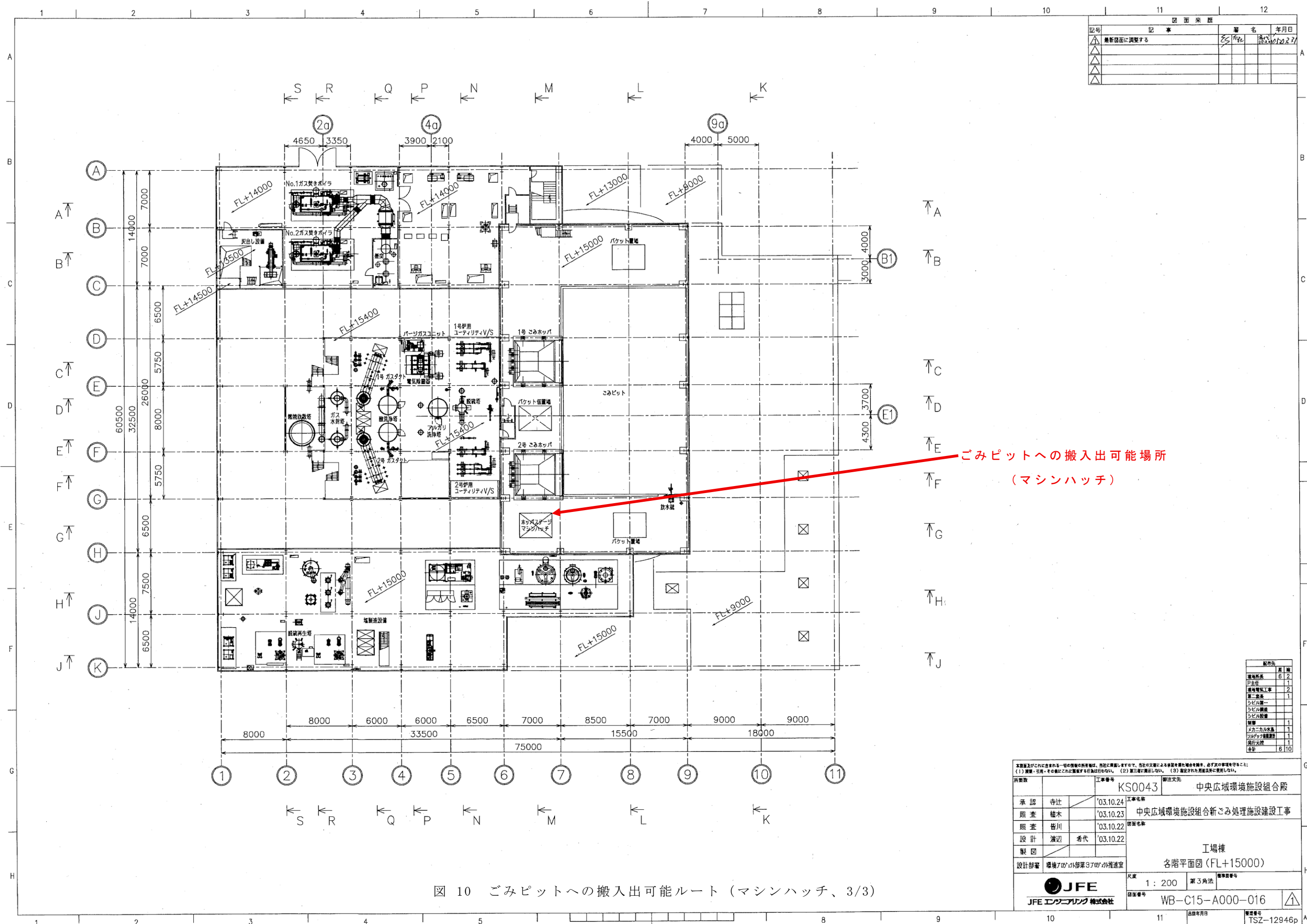
第3章 業務内容

1. 共通事項

- (1) 本施設のプラットホームには、ごみの積替設備を設置し運営していく予定である。月～金曜日の 8:30～16:30 及び土曜日の午前中にはごみを受け入れるため、ごみピットへの資機材等の搬入出はこれら以外の時間に行うこと。
- (2) ごみピットへの搬入出可能ルートは、ごみ投入扉（図 7 参照）又はマシンハッチ（図 8～図 10 参照）となる。なお、搬入出に当たりごみクレーンを使用することを可とするが、クレーン運転士の配置や、必要な許認可取得は受注者にて行うこと。
- (3) 臭気対策のため、本業務の完了までの間は既設脱臭装置を稼働するため、ごみピット内が負圧になることに留意すること。なお、ごみピットへの搬入出の際は臭気が漏れないよう、ごみ投入扉とマシンハッチを同時に開放しないようにすること。
- (4) ごみピットの底部及びごみピット汚水槽は、硫化水素濃度が高いため、各種作業に当たっては留意すること。
- (5) 本業務の実施に必要な電力及び水は本組合が支給するが、必要最小限の使用量とすること。
- (6) 本業務において発生した廃棄物及び汚水は、分析した上で本業務に伴い発生した特別管理産業廃棄物又は産業廃棄物として適切に処分すること。なお、運搬費及び処分費は、本業務の受注者と運搬事業者又は処分事業者との契約単価並びにマニフェストの数量に基づき、実費精算を行うものとする。







2. ほこりの除去

(1) 対象範囲 図 4～図 5 の赤着色の範囲

(2) 特記事項

- ・実施に当たっては、第 3 章 1. の共通事項の内容に留意すること。
- ・ほこりの除去は、掃除機又はブロワ等を用いて行うことを想定しているが、具体的な除去方法を提案し、本組合の承諾を得た上で実施すること。

3. 高圧洗浄

(1) 対象範囲 図 4～図 5 の青着色の範囲

(2) ごみピット残留物量 130t (想定)

(3) ごみピット汚水槽残留物量 30t (想定)

(4) 特記事項

- ・実施に当たっては、第 3 章 1. の共通事項の内容に留意すること。
- ・ごみピット残留物は本組合にて事前に可能な限り少なくしているが、残量は本業務において搬出、運搬及び処分することとし、具体的な搬出方法を提案し、本組合の承諾を得た上で実施すること。
- ・ごみピット残留物の搬出に当たり、ごみクレーンを使用した場合は、バケットの付着物を除去すること。
- ・ごみピット汚水槽残留物のうち、ごみピット汚水の過去の分析結果（参考）は添付資料 2 のとおりである。
- ・ごみピット及びごみピット汚水槽は全面洗浄することを想定しているが、具体的な洗浄方法を提案し、本組合の承諾を得た上で実施すること。
- ・ごみピット汚水槽残留物及び高圧洗浄に伴い発生した汚水は、図 11 の場所又はごみピット等からバキューム車等を用いて吸引すること。
- ・洗浄完了後は、臭気対策等のため対象範囲を十分に乾燥させること。

4. ごみ投入扉の隙間の閉塞

- (1) 対象範囲 ごみ投入扉
- (2) 数量 ごみ収集車用 3 門
 ダンピングボックス用 1 門
- (3) 主要寸法 ごみ収集車用 各幅 3m×高さ 5m
 ダンピングボックス用 幅 3.5m×高さ 2.8m
- (4) 特記事項
- ・実施に当たっては、第 3 章 1. の共通事項の内容に留意すること。
 - ・本業務の完了後は、既設脱臭装置を停止する計画である。このため、ごみピット等の臭気がプラットホームに極力流入しないよう、ごみ投入扉の隙間をプラットホーム側から閉塞すること。
 - ・隙間の閉塞に当たっては、今後ごみ投入扉を開閉する場合に撤去可能なシーリング材等を想定しているが、具体的な閉塞方法を提案し、本組合の承諾を得た上で実施すること。

5. 廃棄物及び汚水の運搬費及び処分費の実費精算について

第 3 章 1. (6) のとおり、本業務において発生した廃棄物及び汚水の運搬費及び処分費は、本業務の受注者と運搬事業者又は処分事業者との契約単価並びにマニフェストの数量に基づき、実費精算を行うものとする。実費精算の対象物は、下表のとおりである。

表 実費精算の対象物

	想定量
ごみピット残留物	130t
ごみピット汚水槽残留物	30t
高圧洗浄に伴い発生した汚水	130t